

**2026 年度 A O 選抜 文学部 日本文学研究学域  
「人文学プロポーズ方式」**

---

**【選考講評】**

**1. 実施状況**

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
日本文学研究学域	12	8	8

**2. 第一次選考<ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等>**

(1) 評価ポイント

研究テーマ・計画の着眼点が独創的であり、日本の言語・文学・文化について、立命館大学文学部日本文学研究学域で専門的に学びたいという意欲が溢れているか、学習・活動計画を含め具体的な記述がなされているかを評価のポイントとしました。

(2) 解答状況

一次合格者の解答は、上記の評価ポイントで示した内容を有しており、具体的な記述によって研究意欲が明確に表現されていました。

**3. 第二次選考**

(1) 評価ポイント

第二次選考では、プレゼンテーションと面接を行いました。以下の三点を重視しました。

- 1) 研究に対する意欲を自身の言葉で表現できているか。
- 2) 具体的で実現性のある研究計画か。
- 3) 理論的に筋道の通った説明ができているか。

(2) 解答状況

合格者は上記の評価ポイントで示した内容をおおむね満たしていました。学問に対する並々ならぬ熱意が伝わってくるようで、頼もしく感じました。

(3) 試験（プレゼンテーション・面接）内容

受験生によるプレゼンテーションのあと、その内容に関する質疑応答を行いました。続けて、大学進学後の学びや将来の目標等についての試問を行いました。

(4) 出題（プレゼンテーション・面接）の意図

入学後の専門的な学習に必要な基礎知識や意欲を確認するとともに、自身の考えを適切な方法で伝達する能力、複雑かつ頻繁な意味内容を正確に聞き取り、瞬時に判断して最適な答えを出す意思疎通の能力を見定める意図でした。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

大学の学習には高校までの基礎知識の涵養が欠かせません。日々の学習に真摯に取り組

み、着実に習得することを第一に考えてください。関心を抱いている事柄はもちろん、幅広い領域に興味を持ち、多様な事象について思考し、それを正確に書き著す力を養ってください。

以上